

## 1 月期相場概況

1 月期の日経平均株価は約 411 円下落した。高値は期中 1/15 の日中高値 10,982.10 円、安値は期末 1/29 日中安値 10,198.04 円。

1 月期の日経平均は、前半、12 月期の流れを引き継ぎ昨年来高値を連日更新し、1/15 には 2008 年 10 月以来 1 年 3 ヶ月ぶりとなる 11,000 円に接近した。

また、この頃には日本航空 (JAL) の会社更生法適用申請や民主党の小沢一郎幹事長の政治資金問題に関する疑惑が浮かび上がっていたが日経平均に大きな影響を与えるまでには至らなかった。

その後 1/22 に、中国が金融引き締めへ転じつつあるなかで、オバマ大統領が金融規制案の発表。これを受け世界的な株安となり前日比 300 円近い下落となり、10,590.55 円で引けた。ドル/円に関しても 90 円台を割り込み株安を手伝う形となった。

これをきっかけにトレンドが転換。1/27 にはトヨタ自動車のリコール問題も指数を押し下げる要因となり終値は 10,252.08 円。

1/29 にはギリシャなどヨーロッパの複数国の財政問題や、中国などアジアでの金融引き締めバイアスなど複数の海外のリスク表面化に伴う円高警戒感により前日比 200 円以上の下落となり 10,198.04 円で今期を終えた。

### 本資料使用上の留意点について

・本資料は当社が信頼できると考える情報ベンダーから取得したデータをもとに作成されておりますが、機械上に誤りが発生する可能性があります。当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、当社の現時点での判断を示しているに過ぎません。本資料は、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料にて言及されている投資やサービスはお客様に適切なものであるとは限りません。また、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。本資料の論旨と一致しない他のレポートを発行している、或いは今後発行する可能性があります。本資料の利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。